

令和6年度予算編成に対する要望書

長野市長 荻原健司様

先の長野市議会議員選挙において市民の皆様の負託を受け、長野市議会新友会は17名の議員で新たな任期をスタートしました。今後も市民の皆様が幸せを実感できる長野市を共に創ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、本市においても人口減少スピードが加速する中で、まちの活力低下の原因である人口減少を抑えるとともに、将来にわたってまちの活力を維持向上していくために、長野市らしい魅力あるまちづくりが求められています。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが、感染法上の5類に引き下げられ、市民生活や経済活動がコロナ禍から平時に戻りつつある今こそ、未来に向けた戦略的な投資を行い、市が持つ強みを活かした新たな取り組みに積極的にチャレンジしていくことが必要です。

第五次長野市総合計画後期基本計画も3年目に入りますが、年々増加する社会保障関係経費や公共施設の長寿命化、集中豪雨等の自然災害対策等で歳出増が想定される中で、高齢者の社会参加によるフレイル予防や介護予防で健康寿命を延伸させるほか、行政DXの推進でさらなる行政のスリム化・効率化を進めるとともに、長期戦略2040、スマートシティ、SDGs未来都市計画などに基づく事業を積極的に推進していかなければなりません。

私ども新友会は、厳しい財政状況下においても、医療、介護、高齢者福祉、子育て支援、貧困対策等、市民サービスを安定して提供するために会派一同で知恵を絞り、持続可能な市政運営に向けてしっかりと行動していく所存です。

そこで、新友会として、所属議員の出身地域はもとより、新友会政策モニター100余名をはじめとする市内全域の市民の皆様から寄せられたご意見やご要望をまとめた「令和6年度予算編成に対する要望書」をここに提出いたします。

つきましては、令和6年度予算編成において、本要望書に記載された405項目にわたる市民の皆様からの期待や願いを十分に反映され、魅力と活力あふれる長野市実現のためにご尽力いただきますよう、お願い申し上げます。

令和5年11月8日

長野市議会新友会
会長 小泉栄正